

対象年度		令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート										
事務事業名		消防団員関係事業						予算事業名		消防団員関係経費				
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	消防組織法 消防法					
				09	01	02	0501	経常経費	根拠法令					
総合計画体系		2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						事業の区分		主要事業				
		2-4安全に暮らせる安心なまちづくり(防災・防犯・安全)												
		④消防・救急体制の強化						事業の区分		防災安全課				
		2消防団の活性化と団員確保						担当課係等		消防防災係				
事業期間		継続 (平成27年度～令和 4年度)												
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
消防団員の活動報酬、福利厚生等の待遇を支えることにより、消防団の体制が維持され、災害対応能力が向上する。								全国的に消防団員確保には苦慮していることから、福利厚生関係の充実を図っている。						
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】						
消防団員の福利厚生(報酬、補償、退職報償)を充実させ、消防団員の確保と消防団の活性化を図る。								結城市消防団員						
								【事業をとりまく環境の変化】						
								消防団に対する市民の期待は、年々高まってきている。						
【令和 2年度 事業内容】				【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】						
消防団員の福利厚生 健康診断				消防団員の福利厚生 健康診断				消防団員の福利厚生 健康診断						

■事業費			H30年度	R01年度			
財 源 内 訳	国	庫 支 出 金	0	0			
	県	支 出 金	0	0			
	地	方 債	0	0			
	そ	の 他	5,710	6,750			
	一	般 財 源	232	478			
歳 入 計 (千 円)			5,942	7,228			
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)		金額 (千円)	金額 (千円)			
	05	災害補償費	2,176	2,050			
	08	報償費	3,461	4,700			
	13	委託料	305	478			
歳 出 計 (千 円) (A)			5,942	7,228			
伸 び 率 (%)				21.64			
備 考	総合計画 84 ページ 予算書 150 ページ						

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	退職報償金受給者	人	目標	40.00	40.00	40.00
	退職消防団員に対する報奨金		実績	13.00	0.00	0.00
	健康診断受診者	人	目標	70.00	70.00	70.00
	年1回消防団員の健康診断を実施		実績	51.00	0.00	0.00
成果 指標	消防団員数	人	目標	300.00	300.00	300.00
	結城市消防団本部、第1分団から第10分団、女性分団の総数		実績	269.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	地域における消防団員の果たす役割は、非常に大きい。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	
	手段の妥当性	A 妥当である	
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	永年勤続者の退職があるため、掛け金に対して退職報償金の受領額が多くなっているため、コスト面については、効率化が図られている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	団員のサラリーマン化が進んでいることから、健康診断の受診者が減少傾向にあったため、日曜日に開催したが効果が見られなかったため別の受診方法を検討する。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	団員数確保に関しては、微増ではあるが成果が見られる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
団員確保に関して、自治会や後援会に協力をお願いしているところではあるが、苦慮しているという意見が多数見受けられる。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
消防団の活動自体を見直し、団員の負担軽減を図っていく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了	
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 消防団活動を支える本事業は不可欠である。委託料の執行を改善して行く。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	